

クルリンと ほしぞらさんぽ 3月号



空はもう春？

冬の星座がまだまだ見えていますが、東の空には春の星座が次第に高くなってきています。冬に比べると春の星座には明るい星が少ないので、あまり注目しない人がいるようですが、しっかり観察していると星座がよく分かってきますよ。寒さはゆるんできますが、それでも夜になると冷えますから気をつけて、ほしぞらさんぽに出かけましょうね。

春の星座は東側の空半分に

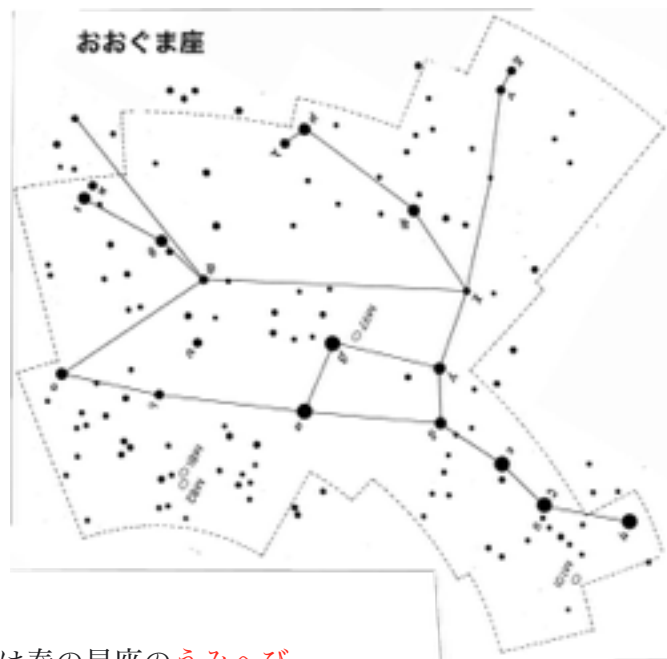
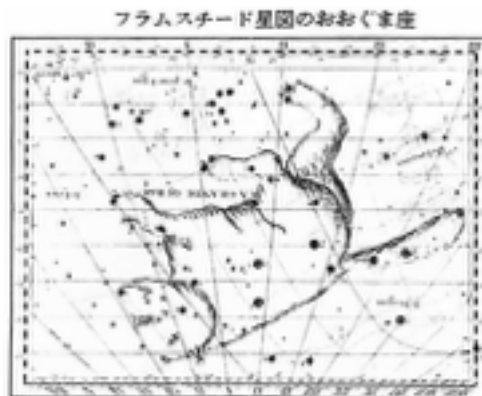
3月半ばの午後8時半ごろ見上げると、空は…。西半分は冬の星座、東半分は春の星座、比べてみると西の空の方が明らかににぎやかですね。

東側の春の星空に見えている星座の代表は…、それは……**おおぐま座**ですね。おおぐま座の一部で、クマのしっぽになっている**北斗七星**は見つけましたか？

「北斗七星見つけ！」で終わりにしないで、右の2つの星図を見ながらおおぐま座全体を探しましょうね。おおぐま座の全体を見つける人は少ないんですよ。なお2つの星図は今の季節のかたむきになっています。

おおぐま座は全天で88ある星座の中で大きさ第3位の大きな星座です。1位は春の星座の**うみへび座**、2位はこれも春の星座の**おとめ座**ですが、伊勢原あたりで見ると明るい星が少なく、2つともやや見にくい星座です。おおぐま座は伊勢原の空で見つけられる中では1番大きい星座と言ってよいでしょう。

さて、**実技問題1**です。おおぐま座を見るには、**東西南北のどちらを向いて立ったらいいのでしょうか。星座早見盤で調べて答えを出しましょう**



う。また実際の空を見上げて答えを確かめましょうね。こうすると星座早見盤の見方が上手になれるでしょう。

その他の春の星座

しし座も大きな星座で目立っていますね、これも春の星座の代表です。市街地の明るい夜空でも「**ししの大がま**」は見つかるでしょう。ししの大がまの中にある1等星の**レグルス**は距離77光年ですが、全天に21ある1等星の中ではいちばん暗い星です。

春の星座の先頭にいる**かに座**には明るい星がないので、かなり注意しないと分かりにくいでしょうが、双眼鏡があれば**プレセペ星団**を見つけれられるかもしれません。この星団は距離570光年ぐらいと近いので星がやや散らばっているようにも見えます。

西半分はまだ冬の星座

では**実技問題2**です。

見えている冬の星座の中で、ふたご座を実際に指し示すことができますか。もちろん星座早見盤なんか見ないでね。ふたご座の**ポルクス**と**カス**

トルが並んでいるので覚えやすいから見つかったでしょう？

他の星座も指させるかどうか、やってみましょう。**オリオン座、おおいぬ座、おうし座、ぎょしゃ座、うさぎ座**… うさぎ座は難しいかもしれませんね。

どうですか。星図を見ないでいくつ指し示すことができましたか。あと2ヶ月ぐらいで冬の星座

は見えなくなります。半年以上は冬の星座は見られませんから、今のうちにしっかり見ておきましょう。

月や惑星も星空散歩に入れましょう

3月は9日ごろまで月の観察に適しています。その間に満月もありますし、月が沈む様子も、日没までに月が東から出てくる様子も見ることができます。

月の観察はスマホで写真を撮ったりして連続した記録が作れるととてもいい勉強ができますから、ぜひやってみましょう。

3月中に地球の兄弟星・惑星のうちの金星が夕方の方の西の空で明るく輝くのが見えます。

-4等というとんでもない明るさ。でも太陽を追いかけてすぐに西の地平に沈んでしまいますから、日没後明るさが残っているうちに見ないとチャンスを逃してしまいますよ。

火星がまだ見えていますね。ぎょしゃ座とふたご座の近くで赤く輝いています。来年夏過ぎた時に火星はどこにいるのでしょうか。今の写真を撮っておくといいね。スマホでもアプリを入れると火星と星座の写真は撮れますよ。

実技問題1の答え 北、正確には北東

